

研究者紹介



氏 名
経 歴・職 歴

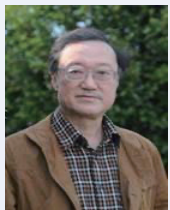
石井 貴晃 取締役（工学博士）
崇城大学大学院工学研究科応用生命科学専攻博士課程修了
大阪大学大学院工学研究科生命先端工学専攻
生物プロセスシステム工学研究室特任研究員（常勤）

学 会 お よ び
社 会 に お け る
活 動 等

細胞培養加工施設立上げおよび運営管理・教育
動物実験代替法学会会員
日本再生医療学会会員
化学工学会会員

〔 主論文および特許 〕

1. Ishii, H. Saito, Y. Komizu, R. Tomoshige, and T. Matsushita. Effects of macroporous hydroxyapatite carriers on the growth and function of human hepatoblasts derived from fetal hepatocytes. J. Biosci. Bioeng. 122(2):240-5. (2016)
2. Ishii, Y. Komizu, N. Shibuya, K. Kusaka, T. Matsushita. Effects of the use of polyacrylonitrile nanofibers as 3D scaffolds on the growth and function of human hepatoblasts derived from fetal hepatocytes. AATEX, 20, 66-72 (2015).
国際特許：CELL CULTURE MODULE , WO 2014/034146 A1



氏 名
経 歴・職 歴

井上 智彰 R&D ディレクター（獣医学博士）
九州大学理学部生物学科卒業
Hoffman-La Roche Inc. (USA), Investigative Toxicology 出向
日本ロシュ（株）毒性病理部 主席研究員 後に、中外製薬（株）と合併

学 会 お よ び
社 会 に お け る
活 動 等

日本免疫毒性学会 理事
日本動物実験代替法学会 評議員（元理事）
日本毒性学会 評議員
国立衛研プロジェクト日本代表（OECD 試験法ガイドライン申請 Validation Manegement Team Member）
ヒト iPS 細胞応用安全性評価コンソーシアム 肝臓チームリーダー

〔 主論文および特許 〕

- 1.Human induced pluripotent stem cell-derived hepatocytes and their culturing methods to maintain liver functions for pharmacokinetics and safety evaluation of pharmaceuticals. T. Inoue, N. Iwazaki, T. Araki, H. Hitotsumachi,Curr. Pharm. Biotech.,21 (9), 773-779, 2020.
 - 2.Human induced pluripotent stem cell-derived mast cells useful for in vitromast cell activation assay exhibiting phenotypes and morphological characteristics of human mast cells. T. Ikuno, S.Ito, T.Inoue,J. Toxicol. Sci.44 (11), 789-797, 2019.
 - 3.Requirements for human iPS cell derived hepatocytes as an alternative to primary human hepatocytes for assessing absorption, distribution, metabolism, excretion and toxicity of pharmaceuticals.T. Araki, N.Iwazaki, N. Ishiguro, , A. Sakamoto,K.Nagata, M.Ohbuchi, H. Moriguchi, M. Motoi, R.Shinkyō, T. Homma, S. Sakamoto, Y. Iwase, R. Ise, Y. Nakanishi, M. Uto, T. Inoue, Fund. Toxicol. Sci.,3 (3), 89-99, 2016.
 - 4.Electrophysiological characterization of cardiomyocytes derived from human induced pluripotent stem cells.M. Honda, J. Kiyokawa, M. Tabo, T. Inoue, J. Pharmacol. Sci.,117,149-159, 2011.
 5. ヒト iPS 細胞の医薬品の前臨床安全性評価への応用― 心毒性評価系への応用を中心に―, 井上智彰, 本多正樹, BIO Clinica,26, 76-81, 2011.
 6. バイオ医薬品の安全性評価, 井上智彰, 八杉健司, Drug Delivery System,26, 622-627, 2011.
- 国際特許：多能性幹細胞から肝細胞への分化誘導方法, PCT WO2019073951A1
国際特許：タンパク質のエピトープを同定するための方法 , PCT WO2016010002A1

研究製造元

株式会社フロンティア
〒813-0016
福岡県福岡市東区香椎浜 3-3-5

販売元

株式会社 INOUE ホールディングス
東京都千代田区神田須田町 2-23-11 C-KS1 河合ビル 3 階
03-6683-9079

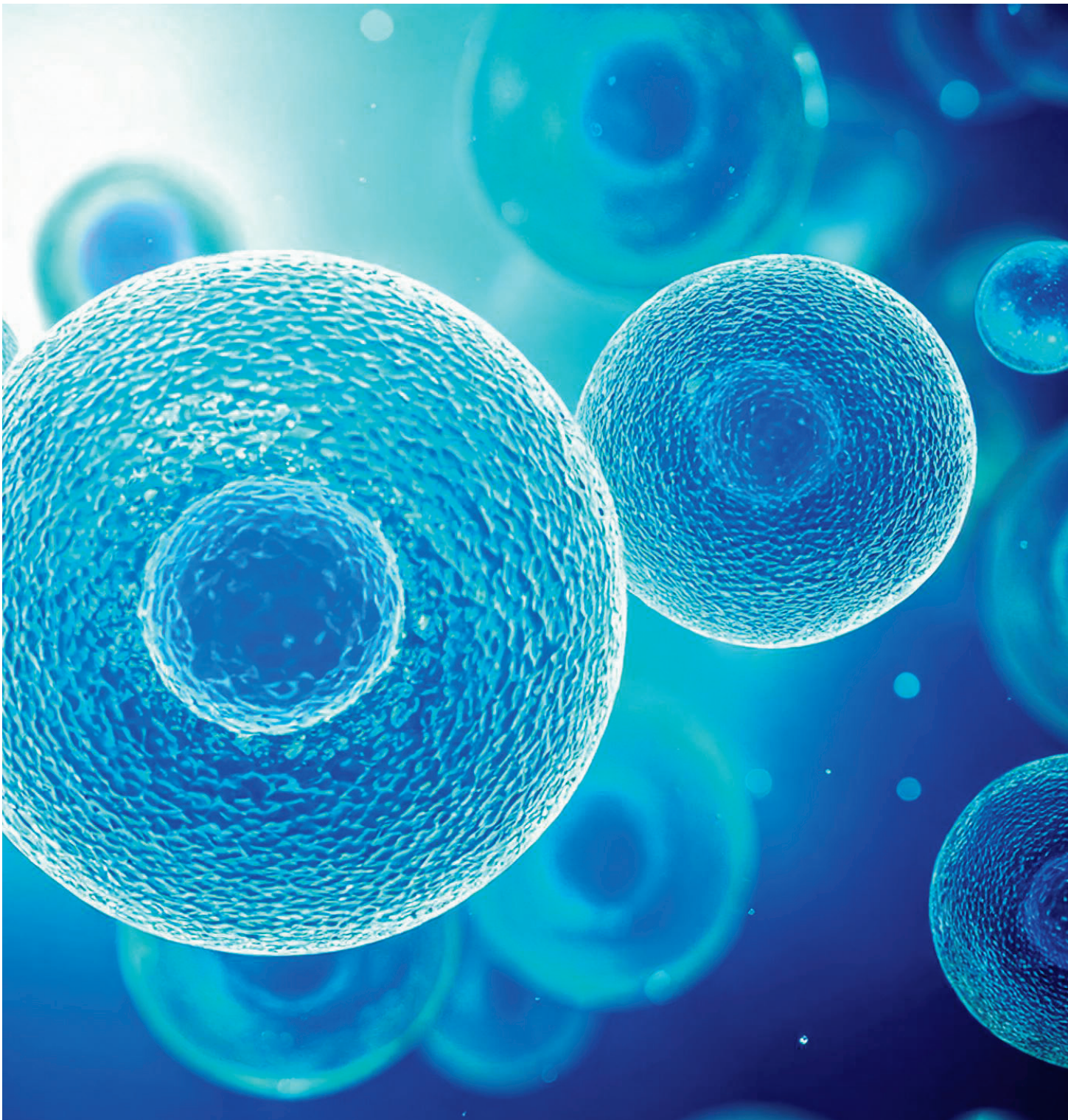
厳選された品質と確かな安全性を、最先端の技術で

幹細胞培養上清液

FSV All in Premium+

SCSV Premium+

SCSV +



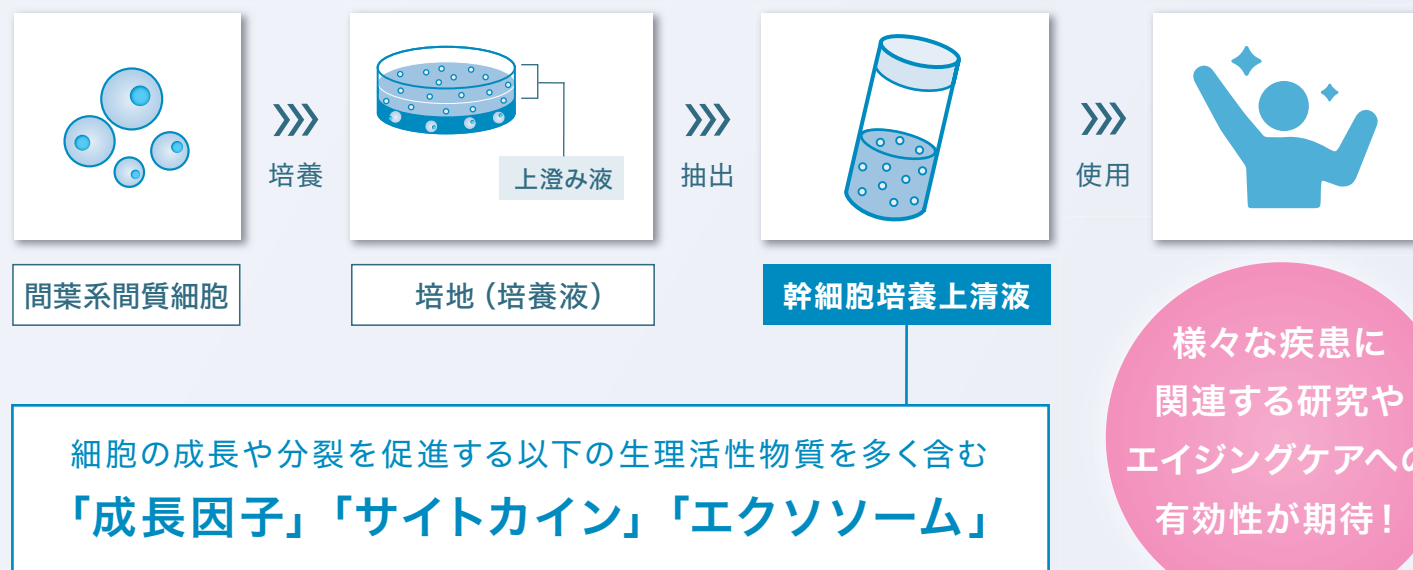
株式会社INOUEホールディングス



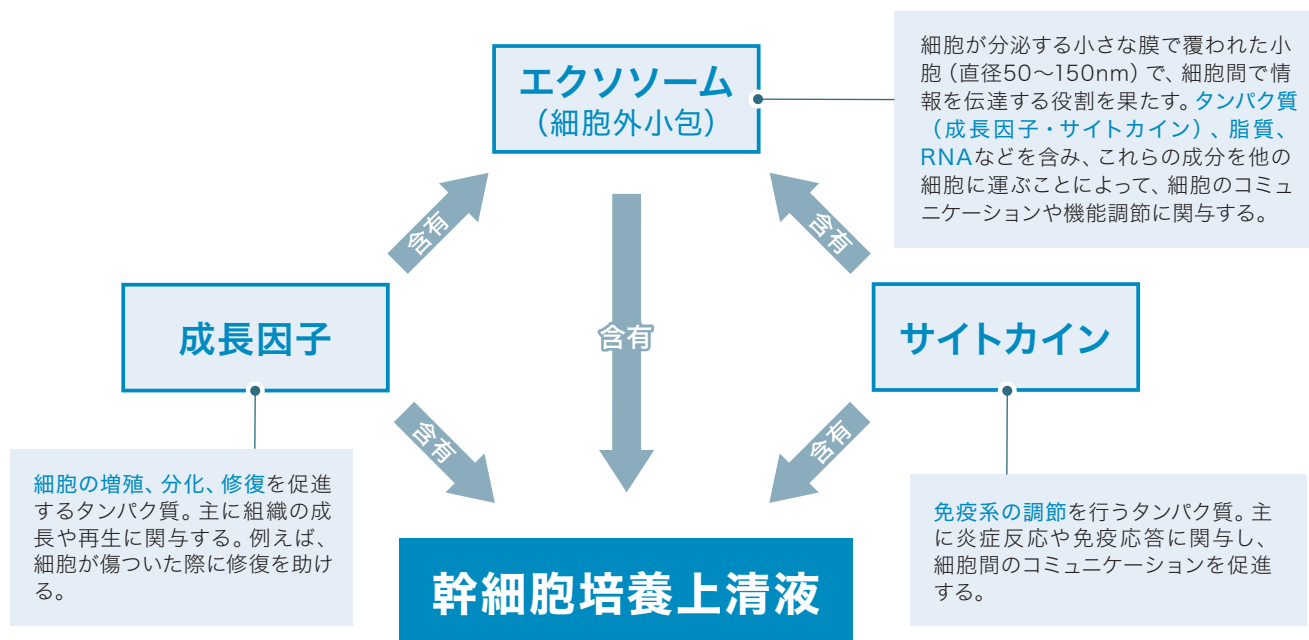
幹細胞培養上清液とは

「幹細胞培養上清液」とは、体性幹細胞（主に間葉系間質細胞）を培養した際にできる上澄み液の事で、多種類の生理活性物質（成長因子・サイトカイン・エクソソームなど）を豊富に含んでいます。

「幹細胞培養上清液」を直接使用する方法では、複数の生理活性物質による複合的な効果が期待されています。

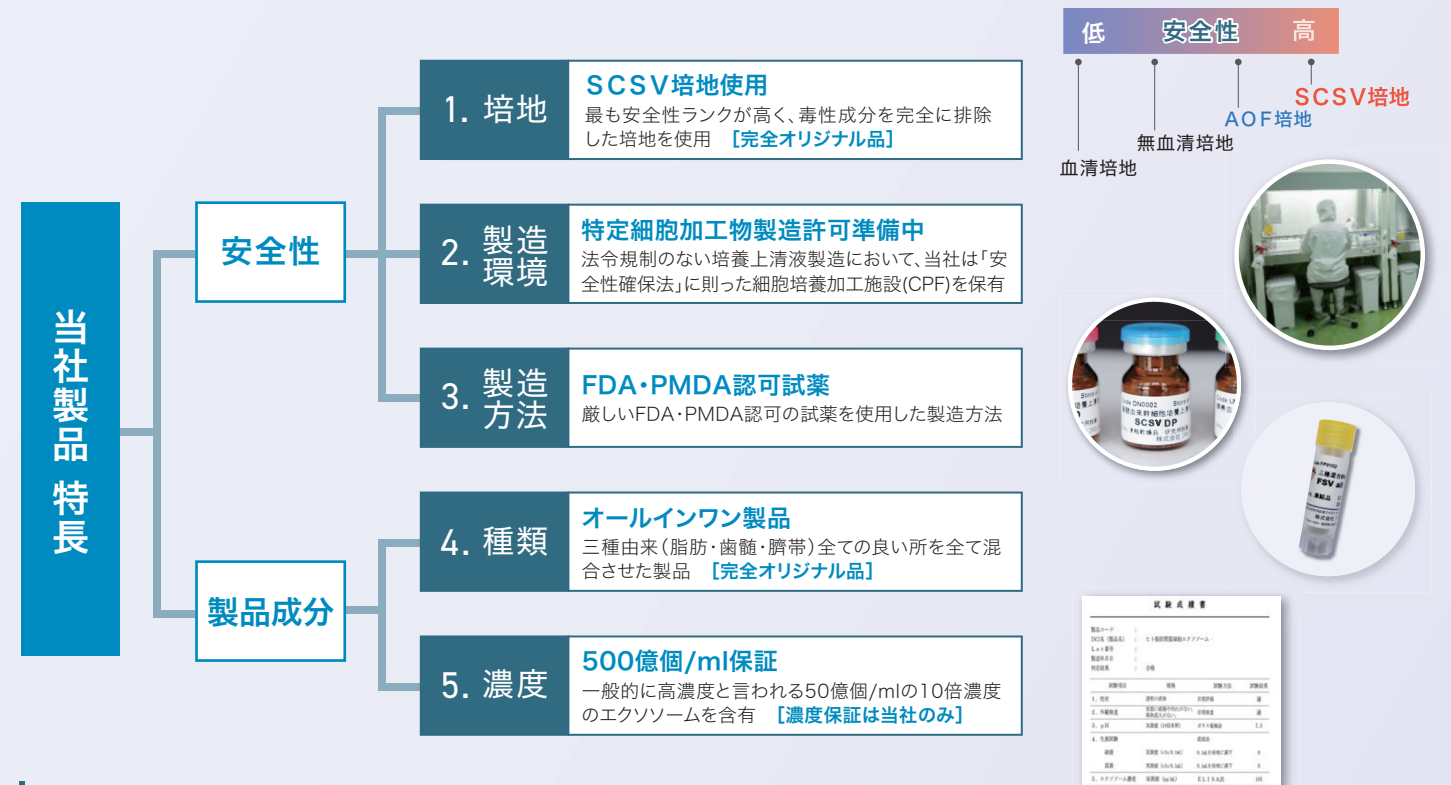


「成長因子」「サイトカイン」「エクソソーム」は相互に関連性を持ちながら幹細胞培養上清液内に含まれています。



当社製品の特長

「玉石混交」の市場において、培養上清液の善し悪しの判別ポイントは、「安全性」と「製品成分」です。当社製品は、両面において当社オリジナルの優れた特長を有しており、他社との大きな差別化が図られています。



製品ラインナップ

商品名	オールインワン製品	幹細胞培養上清液	
	FSV All in Premium+	SCSV Premium+	SCSV +
特長	高品質培地を使用することで、エクソソームを大幅増加(500億個/ml)。全由来の上清液を含有し、更に抗酸化作用も強化した最高級品。	高品質培地を使用することで、エクソソームを大幅増加(500億個/ml)した最高品質の培養上清液。更に抗酸化作用も強化。	500種類以上の成長因子・サイトカインを高濃度で含む培養上清液。更に抗酸化作用も強化。
入数	2 ml/バイアル 10 バイアル/ケース	2 ml/バイアル 10 バイアル/ケース	2 ml/バイアル 10 バイアル/ケース
バイアル	 セラムチューブ	 セラムチューブ	 ガラスバイアル瓶
細胞由来	脂肪、歯髄、臍帯由来の 混合	脂肪由来・歯髄由来・臍帯由来	脂肪由来・歯髄由来・臍帯由来
製品状態	凍結液	凍結液	凍結乾燥
保存方法	-20℃以下冷凍保存	-20℃以下冷凍保存	2～8℃冷蔵保存
保存期間	2年	2年	2年
送付方法	冷凍便	冷凍便	冷蔵便